

施策No.	政策名	生きがいを育む学びのまちづくり	主管課	スポーツ振興課	主管課長名	五十嵐 敦
2-4	施策名	生涯スポーツ活動の振興	関係課	企画課、健康推進課、学校教育課、生涯学習課		

1. 施策の目的と成果把握

目的	施策の対象	対象指標名	単位	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度		
	市民	①桜川市人口	見込値	人		41,278	41,008	40,027	39,571	38,118	
実績値						41,278	40,483	39,692	38,905	38,422.0	
見込値											
											実績値
施策の意図		成果指標名	単位	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度		
スポーツを通じて健康で豊かな生活を送っている。		①週1回以上スポーツを行っている市民の割合	目標値	%		42.0	44.0	46.0	48.0	50.0	
						実績値	40.2	40.3	40.2	39.1	41.5
			目標値								
		②スポーツを通じて健康で豊かな生活を送っている市民の割合	目標値	%		66.0	67.0	68.0	69.0	70.0	
	実績値					61.5	57.4	59.8	58.6	58.8	
	目標値										
											実績値
	③市のスポーツ施設利用者延べ人数	目標値	人		278,000	280,000	282,000	284,000	286,000		
					実績値	289,594	289,812	256,739	146,311	122,641	
目標値											
										実績値	
④スポーツ少年団登録指導者数	目標値	人		197	198	199	200	201			
				実績値	169	160	152	86	34		
	目標値										
										実績値	
成果指標設定の考え方	○スポーツを通じて健康で明るい豊かな生活が出来ているかは、アンケートにより、①「週1回以上スポーツを行っている市民の割合」(実施率)と、②スポーツを日常的に行っている市民の中で、「スポーツを通じて健康で明るい生活を送っている」と答えた市民の割合」において把握する。										
成果指標の把握方法及算定式等	○対象の人口は、毎年10月1日の常住人口。 ○①週1回以上スポーツを行っている市民の割合、②スポーツを通じて健康で豊かな生活を送っている市民の割合は、市民アンケートより求める。③市のスポーツ施設利用者延べ人数は、市内体育施設及び学校体育施設使用許可申請書より求める。④スポーツ少年団登録指導者数は、スポーツ少年団の指導者登録人数より求める。										

2. 施策の成果水準とその背景・要因

1) 現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)

実績比較	<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した	<input type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した	<input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	
背景・要因	<p>○スポーツ実施率(週1回以上スポーツを行っている市民の割合)は、令和2年度39.1%、令和3年度41.5%と昨年度から2.4ポイント減少した。昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響により外に出る機会が減少したことが原因として考えられる。また、スポーツをしている人の中で、スポーツを通じて健康で明るい生活を送っている市民は、令和2年度58.6%、令和3年度58.8%と昨年度から0.2ポイント増加している。一昨年と比較すると、未だに新型コロナウイルス感染症の影響が出ているものと考えられる。</p> <p>○スポーツ施設の延べ利用者数は、令和2年度146,311人、令和3年度122,641人と減少し、前年よりも下回った。その要因は、新型コロナウイルス感染症拡大により施設を閉鎖したためである。</p> <p>○スポーツ少年団指導者数は令和2年度86人、令和3年度34人と減少傾向である。これは、制度改正に伴い有資格者の登録となったこと及び少子化によりスポーツ少年団の団体数や団員登録数の減少もその要因となっていると思われる。</p>		

2) 成果目標の達成状況

実績比較	<input type="checkbox"/> 目標値の全てを上回った	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った	<input type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった
	<input checked="" type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った	<input checked="" type="checkbox"/> 目標値の全てを下回った	
背景・要因	<p>○週1回以上のスポーツ実施率の目標値50.0%に対して41.5%と8.5ポイント下回っている。</p> <p>○スポーツを通じて健康で豊かな生活を送っている市民の割合については、目標値70.0%に対して58.8%と11.2ポイント下回っている。</p> <p>○市のスポーツ施設利用者延べ人数は、目標値286,000人に対して122,641人と163,359人下回っている。</p> <p>○スポーツ少年団登録指導者数は、目標値201人に対して34人と167人下回っている。</p>		

3. 施策の成果実績に対するの総括と今後の課題・方針

施策の成果実績に対するの総括	今後の課題・方針
<p>令和3年度、貢献した事務事業は「真壁運動場管理運営事業」、「総合運動公園管理運営事業」、「岩瀬温水プール管理運営事業」等であった。</p> <p>「真壁運動場管理運営事業」は、施設照明のLED化を行ない、夜間にスポーツを楽しむながら健康づくりに取り組む人の環境を整備した。</p> <p>「総合運動公園管理運営事業」は、安心してスポーツを実践できるように、メイン・サブアリーナ雨漏り修繕工事を実施し、スポーツを楽しむ機会と体かづくりの提供を図った。</p> <p>「岩瀬温水プール管理運営事業」は、安心して水泳を楽しめるように空調設備を工事し、子どもから高齢者までスポーツを通じて健康で明るい生活ができるようスポーツに取り組む人を増やし、スポーツ実施率を向上させる機会を設けた。</p>	<p>今後は、普段スポーツに取り組んでいない人なども対象に、健康維持や生活習慣病及び介護予防も視野に入れながら、関係各課と連携を図り、身近に出来るウォーキングや散歩などの普及・啓発や健康体操教室の開催等を行っていく。</p> <p>安全で快適にスポーツ施設が利用できるよう、老朽施設の修繕・改修を行うことにより、施設の充実に努める。</p> <p>総合型地域スポーツクラブ「桜川スマイルクラブ」が平成22年10月に設立し、平成28年9月にはNPO法人化した。スポーツ実施率を向上させるには、関係団体の連携の強化が必要である。</p>